

令和 7（2025）年度 事業報告書

自 令和 7（2025）年 4 月 1 日
至 令和 8（2026）年 3 月 31 日

学校法人 未来創造学園

I. 法人の概要

1. 建学の精神

スローガンに、時代を生き抜く「高い専門性」と「豊かな人間力」の育成を掲げ、全教職員が一丸となって、日々の一つひとつの教育活動を着実に実践し、常に先を見通す論理性や人間の機微がわかる感性を養い、総合力に富む真の意味で社会に貢献できる人材を育成する。

2. 教育理念

熊本電子ビジネス専門学校

「進取」「明朗」「誠実」

熊本デザイン専門学校

「真心」「創造」「調和」

【職員の努力目標】

職員が、学生の輝く未来に向けて、教育へのロマンやポリシーを持ち続け、使命感や熱い情熱のもと、仕事は、常に「厳しく」、職場の雰囲気は、「明るく」をモットーに、次の努力目標を掲げる。

- ・学校に関わる職員として、接遇マナーの充実は、生きた学生指導であることは勿論、学校の満足度や信頼感を高めていく日々の最も大切な取組である。一人ひとりが、学校の顔であるという意識を持ってマナーアップの高揚に最大限努めること。
- ・職員一人ひとりが、常に各種データや動きに敏感になり、アンテナを高くして情報収集に努めるとともに、教職員がお互いに知恵を絞り、各校務分掌が活性化することは勿論、何と言っても、組織としての総合力が発揮されなければならない。
- ・一つひとつの教育活動や各種諸活動において、前例踏襲又は事業消化ではなく、「準備で勝負が決まる」という姿勢で、準備の段階で、工夫改善を行うなど心を込め、力を注ぎ、常に新鮮な気持ちで臨むこと。
- ・授業や校務分掌等に対するスキルアップを含め常に自己啓発の意欲を持ち続け、職責遂行のため絶えず研究と修養に努める。
- ・「授業は1回限りの真剣勝負」と捉え、学生の知的好奇心に応える授業実践を目指す。
- ・学生の心に響く指導を常に心がけ、授業、学校行事をはじめすべての教育活動で実践する。
- ・保護者や関係機関との連携強化を目指す。教育効果をあげるためには不可欠。
- ・学校評価、授業評価、自己評価等を行い、絶えず見直す視点を持ち改善を図り、開かれた学校の実現とともに説明責任を果たす。
- ・危機管理意識の高揚を念頭に置き、すべての教育の面でリスクマネジメント意識を高める。

3. 沿革

- S. 60 専修学校 熊本電子ビジネス専門学校として認可
- S. 61 熊本電子ビジネス専門学校開校
(情報処理本科・経理本科・ビジネス秘書科)
- S. 62 熊本電子ビジネス専門学校B館増築工事竣工
経理本科を情報経理科に名称変更
- S. 63 通産大臣より情報化人材育成連携機関として委嘱
- H. 05 専修学校 熊本デザイン専門学校として認可
- H. 06 熊本デザイン専門学校開校
(グラフィックデザイン科・インテリアデザイン科)
熊本電子ビジネス専門学校 情報処理科を情報システム科に名称変更
- H. 07 熊本電子ビジネス専門学校 マルチメディア科を新設
- H. 09 熊本電子ビジネス専門学校 マルチメディア科をマルチメディアクリエイター科とマルチメディアインストラクター科に分け、情報経理科を経営経理科に、ビジネス秘書科をビジネスキャリア科に名称変更
熊本デザイン専門学校 マルチメディア科を新設
- H. 10 熊本デザイン専門学校白山校舎竣工
- H. 12 熊本電子ビジネス専門学校 マルチメディアインストラクター科をマルチメディアインターネット科に、経営経理科をビジネス経理科へ名称変更
熊本デザイン専門学校 ファッションデザイン科を新設
- H. 14 熊本デザイン専門学校 マルチメディア科をマルチメディアデザイン科に名称変更
- H. 17 熊本デザイン専門学校 マルチメディアデザイン科をメディアデザイン科に名称変更
- H. 19 熊本電子ビジネス専門学校 マルチメディアクリエイター科をゲームクリエイター科に、マルチメディアインターネット科をWEBクリエイター科に名称変更
- H. 20 熊本電子ビジネス専門学校 WEBクリエイター科を情報ビジネス科に名称変更
- H. 21 熊本電子ビジネス専門学校 ゲームクリエイター科をデジタルクリエイター科に、ビジネス経理科を情報経理科に名称変更
- H. 22 熊本電子ビジネス専門学校の設置者を学校法人未来創造学園に変更
熊本デザイン専門学校 メディアデザイン科を映像デザイン科に名称変更し、インテリアデザイン科は文化・教養専門課程から工業専門課程の建築・インテリアデザイン科へ変更
- H. 23 熊本デザイン専門学校の設置者を学校法人未来創造学園に変更
- H. 25 熊本電子ビジネス専門学校 情報システム科をITエンジニア科に、情報ビジネス科をITビジネス科に名称変更、また、情報経理科を廃止し、医療事務科を新設
熊本デザイン専門学校 映像デザイン科をメディア映像デザイン科に名称変更
- H. 26 熊本電子ビジネス専門学校 デジタルクリエイター科が職業実践専門課程として認定

熊本デザイン専門学校 ファッションデザイン科が職業実践専門課程として認定

H. 27 熊本電子ビジネス専門学校 ビジネスキャリア科を総合ビジネス科に名称変更、また I T エンジニア科、I T ビジネス科、医療事務科、総合ビジネス科が職業実践専門課程として認定

熊本デザイン専門学校 グラフィックデザイン科、メディア映像デザイン科、建築・インテリアデザイン科が職業実践専門課程として認定

R. 08 現在に至る

4. 設置する学校・学科等 (令和 7 (2025) 年 6 月 1 日現在)

①熊本電子ビジネス専門学校 【昭和 61 年 4 月開校】

(熊本市中央区九品寺 2 丁目 2-38)

○工業専門課程

I T エンジニア科 昼間部 2 年制

デジタルクリエイター科 昼間部 2 年制

I T ビジネス科 昼間部 2 年制

○商業実務専門課程

医療事務科 昼間部 2 年制

総合ビジネス科 昼間部 2 年制

②熊本デザイン専門学校 【平成 6 年 4 月開校】

(熊本市中央区大江本町 2-5)

○文化・教養専門課程

グラフィックデザイン科 昼間部 2 年制

メディア映像デザイン科 昼間部 2 年制

ファッションデザイン科 昼間部 2 年制

○工業専門課程

建築・インテリアデザイン科 昼間部 2 年制

5. 学校の学生数の状況等 (令和 7 (2025) 年 6 月 1 日現在)

①熊本電子ビジネス専門学校

(単位：名)

学 科	修業年限	入学定員	収容定員	現 員	備 考
I Tエンジニア科	昼 2 年	40	80	68	
デジタルクリエイター科	昼 2 年	30	60	36	
I Tビジネス科	昼 2 年	30	60	47	
医療事務科	昼 2 年	30	60	28	
総合ビジネス科	昼 2 年	30	60	47	
計		160	320	226	

②熊本デザイン専門学校

(単位：名)

学 科	修業年限	入学定員	収容定員	現 員	備 考
グラフィックデザイン科	昼 2 年	70	140	117	
メディア映像デザイン科	昼 2 年	25	50	41	
ファッションデザイン科	昼 2 年	25	50	26	
建築・インテリアデザイン科	昼 2 年	40	80	70	
計		160	320	254	

6. 役員の概要 (令和 7 (2025) 年 6 月 1 日現在)

定数：理事 5 名、監事 2 名

区 分	氏 名	常勤・非常勤	摘要
理事長	吉山 昌利	常勤	平成 3 0 年 6 月 理事長就任
理事	内藤 謙一	常勤	令和 3 年 8 月 理事就任
理事	鶴田 紀一	非常勤	平成 2 4 年 6 月 理事就任
理事	木庭 順子	非常勤	令和元年 6 月 理事就任
理事	大川 信昭	非常勤	令和 7 年 6 月 理事就任
監事	水田 誠	非常勤	令和 4 年 8 月 監事就任
監事	岡本 良介	非常勤	令和 7 年 6 月 監事就任

7. 評議員の概要 (令和7(2025)年6月1日現在)

定数：13名

	氏 名	選任条項	任期	備考
評議員	吉山 齊一	第1号	R7.6.1 ~ R13.5.31	
評議員	徳村 尚晃	第1号	R7.6.1 ~ R13.5.31	
評議員	垂水 治樹	第2号	R7.6.1 ~ R13.5.31	学外者(外部 評議員)
評議員	岩本 保弘	第3号	R7.6.1 ~ R13.5.31	学外者(外部 評議員)
評議員	内村 友造	第3号	R7.6.1 ~ R13.5.31	学外者(外部 評議員)
評議員	古庄 隆一	第3号	R7.6.1 ~ R13.5.31	学外者(外部 評議員)

8. 教職員の概要 (令和7(2025)年6月1日現在)

学校名	教員		職員
	常勤	非常勤	
熊本電子ビジネス専門学校	11	27	10
熊本デザイン専門学校	12	38	7

9. その他

令和7年4月に私学法改正による寄附行為の変更で、役員及び評議員を一新(令和7年5月31日)

II 事業の概要

1. 事業の概要

当学園は、熊本電子ビジネス専門学校、熊本デザイン専門学校の2校を有する学校法人で、学生数は令和7年6月1日現在で480名である。

(1) 学生募集について

近年、IT業界を目指す入学者が増加傾向にあったが、今年度より減少傾向にある。また、

ビジネス分野（特にブライダル）への入学希望は増加傾向である。

デザイン業界については、建築分野・ファッション分野は前年とほぼ変わらないが、グラフィック分野への入学希望が減少している。

熊本電子ビジネス専門学校については、高校訪問の強化や各ガイダンス、デジタルパンフの導入、オープンキャンパス対応や各種媒体の見直しについて学校全体で取り組み工夫・改善した結果、情報分野は減少したがビジネス分野では希望者も増加した。

熊本デザイン専門学校においても同様に高校訪問の強化や各ガイダンス、DMによる周知徹底、オープンキャンパス対応に全体で取り組んだ結果、グラフィックデザイン科、メディア映像デザイン科は若干の減少となったが、他の2学科については現状維持となった。

今年度は大学の年内入試希望者数の増加に対応するため、総合型選抜（AO入試）導入の検討や、より多くの高校生と接し、オープンキャンパスへの参加を促していくと共に、次年度に向けてオープンキャンパス、イベント等への参加者増、学校、学科の魅力をさらに高める取り組みを実施していく。

（2）教育について

学生も保護者も教師を選ぶことはできないことを常に意識し、教師としての使命感と責任感を自覚し、「講義・実習は1回限りの真剣勝負」と捉えて学生の好奇心に応える講義等の実践を実施していくことを常に忘れず、今年度も講義、学生指導に取り組んできた。

今後の状況変化に対応するため、今後も生成AIなどの新しい補助教材の導入を実施し、業界動向に注視し、即戦力となる人材育成に取り組んでいく。また、学生のメンタル面のケア、授業や就職活動へのモチベーション維持なども継続して取り組んでいく。

（3）キャリア支援について

今年度は学園全体での求人件数586件、就職内定率は94.9%だった。昨年より求人数は減少したが、内定率は微増した。

内定率については今後も個別の面接指導の実施や教職員一丸となったフォロー体制を構築し、就職未決定者については、個別指導等により対応していく。

今年度もWeb面接を実施する企業が増えてきており、環境整備やスケジュール調整、面接指導などの対策を行い、学生の就職活動を万全の態勢でサポートしていく。

2. 主な事業の進捗状況について

（1）指定校推薦入試制度について

等学校法人を取り巻く環境については、少子化の進行や大学への進学増加、就職状況の好調など厳しい状況が続いており、その中で、より高い目的意識を持った生徒の皆様方を迎え入れ、技術や知識だけではなく、人間力を兼ね備えた社会に貢献できる人材の育成を目指すべく、今年度も引き続き指定校推薦入学制度を実施していく。制度の内容としては推薦条件を4項目挙げ、全ての条件を満たす者がこの制度にて受験できる。なお、選考方法は書類審査のみとし、対象高等学校に推薦枠を設けている。

(2) 産学連携について

産業界と学校が互いに連携し、共同研究、商品開発、技術教育を推進することにより、学生の実践力向上にかなりの効果が期待でき、連携先企業の新規開拓や既存クライアント企業との関係強化が図れることもあり、今後も積極的に取り組んでいく。

【主な産学連携】

- ・アミュプラザくまもと様 AMU's Christmas ビジュアルコンペティション/ファッションショー
- ・くまもと半導体グリーンイノベーション協議会様 K S G I シンボルマークデザイン
- ・くまもと漱石倶楽部様 夏目漱石シンボルマークデザイン
- ・くまもと江津湖魅力化推進協議会様 江津湖リビング
- ・くまもと農業女史コミュニティー AguRokka 様 新規会員募集 LP ページ制作

(3) 職業実践専門課程

職業実践専門課程とは、専修学校の専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを、「職業実践専門課程」として文部科学大臣が認定して奨励することにより、専修学校の専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とするものである。当学園では2校9学科が既に認定を受けている。

(4) 高等教育の就学支援新制度

この制度は、「大学等修学支援法」に基づき、おもに低所得者世帯を対象に、高等教育機関（大学・短大・高専・専門学校）の入学金や授業料が減額または免除される制度。また、学資支援として、返還の必要がない奨学金の支給も行われる。当学園も文部科学省より就学支援対象校として認定されている。

(5) 単位制の導入

学校教育法の改正により、専門課程でも単位制が開始（2年間に必要な62単位）された。当学園でも全科目必修体制を維持しつつ、62単位以上を取得して仕事に必要な技能の質と量を維持するとともに、現在の必修ベースの強みを活かしつつ、希望に応じた選択科目を組み込むなど、より柔軟な構成を検討していく。

(6) 各種検定、コンテスト

検定試験、コンテストについては将来プロとして働くためのスキルの証。当学園では検定試験の取得やコンテスト入賞に力を入れている。情報分野については応用情報技術者試験（1名）、基本情報技術者試験（5名）、情報セキュリティマネジメント試験（1名/1名）、CG-ARTS検定 CGエンジニア・ベーシック78%（7名/9名）、CG-ARTS検定 CGクリエイター・ベーシック100%（3名/3名）、CG-ARTS検定 Webデザイナー・ベーシック90%（19名/21名）、J検情報システム試験基本スキル68%（23名/34名）、J検情報システム試験プログラミングスキル39%（13名/33名）、など。今後も情報系国家試験については合格率アップを目指し取り組んでいく。ビジネス分野では秘書技能検定1級33%（1

名/3名)、秘書技能検定準1級67%(12名/18名)、サービス接遇検定1級20%(1名/5名)、サービス接遇検定準1級100%(22名/22名)、ビジネス文書技能検定2級94%(17名/18名)、アシスタントウェディングプランナー ジュニアライセンス検定100%(19名/19名)、診療報酬請求事務能力認定試験53%(8名/15名)、ホスピタルコンシェルジュ検定3級100%(15名/15名)など。今後もより上位の検定試験取得に向けて取り組んでいく。デザイン分野では、レタリング技能検定2級100%(1名/1名)、レタリング技能検定3級78%(47名/60名)、ファッションビジネス能力検定2級67%(8名/12名)、ファッションビジネス能力検定3級92%(11名/12名)、パターンメイキング検定2級100%(2名/2名)、色彩検定2級87%(51名/58名)、色彩検定3級76%(38名/50名)、CGクリエイター検定ベーシック88%(23名/26名)、J検情報デザイン試験初級84%(22名/26名)、福祉住環境コーディネーター2級100%(1名/1名)、2級施工管理技士33%(1名/3名)、カラーコーディネーター検定試験アドバンスクラス リフォームスタイリスト1級71%(5名/7名)、カラーコーディネーター検定試験アドバンスクラス リフォームスタイリスト2級90%(10名/11名)、CAD検定準2級85%(11名/13名)、CAD検定3級100%(2名/2名)など、資格取得に向けて積極的にチャレンジし、合格実績を上げることができた。また、自衛隊フェスタ2024動画コンテスト最優秀賞など、コンテストにおいても多くの学生が入賞した。

(6) 施設・設備について

特になし

○施設等の概要 (令和7(2025)年5月1日現在)

①熊本電子ビジネス専門学校	校地	1, 482 m ²
	校舎	519 m ²
②熊本デザイン専門学校	校地	2, 202 m ²
	校舎	614 m ²

III 財務の概要

財務の概要については、別途「財務状況」参照。